



# 地下鉄7号線

回覧

## 延伸 ニュース 第19号



### さいたま市地下鉄7号線 延伸認可申請事業化 実現期成会

2022.8 Vol.19

## 会報誌の名前が変わりました!

期成会の会報誌は、2012年の創刊より「SUBWAY NEWS LETTER7」の名前で発行してまいりましたが、この度「地下鉄7号線延伸ニュース」とより分かりやすく親しみやすい名前に変わりました。名前は変わりますが、これまでと変わらず地下鉄7号線延伸に関する情報を皆様にお届けいたしますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

### 地下鉄7号線延伸事業化推進特別講演会を開催

令和3年4月に、埼玉県とさいたま市において、地下鉄7号線延伸に向けた「方針」と「取組」について合意をされ、その後、さいたま市においては鉄道事業者に対する国への認定申請手続きを要請する具体的なスケジュールが明確化され、さらに延伸推進のための自治体連携会議も発足するなど、地下鉄7号線延伸は実現に向け大きく前進をいたしました。

そうした流れを受け、期成会では延伸実現に向け様々な取組みをされている方々を講師にお招きし、これからの延伸実現の展望等をお話いただく特別講演会を開催いたしました。

●と き : 令和4年3月12日(土)午後3時15分 ●場 所 : 岩槻駅東口コミュニティセンター 4階多目的ルームA、B(本会場)、クラフトルーム(サテライト会場)  
※当日は、ZOOMによるオンライン配信を同時に実施 ●出席者 : 193名(サテライト会場、オンライン参加含む)

#### 講演会要旨

#### (1) 地下鉄7号線の延伸と中間駅周辺のまちづくり ———— 講師:さいたま市長 清水 勇人 氏

- 令和3年度は、4月30日(金)に大野埼玉県知事と意見交換を行い、今後延伸事業を行う上で県と市が共有する方針や連携協力して進める取組について定めた「地下鉄7号線延伸に向けた方針及び取組」について合意。6月の市議会では、「令和5年度中に鉄道事業者に対し事業の実施を要請し、4年の任期内のできるだけ早い時期に鉄道事業者が申請手続きに入れるように努める」と今後のスケジュールについて表明した。また、7月には大野埼玉県知事との意見交換会でスケジュールを共有し、今後も連携・協力して課題解決に向けた取組みを推進していくこととした。
- 「地下鉄7号線延伸に向けた方針及び取組」の1つである「速達性向上事業の実施の要請に向けた取組」として、速達性向上事業に関する計画の素案を作成すること等を目的に埼玉県、川口市との部長局長級会議である「地下鉄7号線延伸推進自治体連携会議」を設置し、今年度は会議を2回開催。12月には、表明したスケジュールを実施するために「さいたま市総合振興計画基本計画実施計画」を改定し、毎年度の目標指標を新たに設定した。
- 令和5年度の鉄道事業者への事業実施要請に向けた令和4年度の取組として、「地下鉄7号線延伸推進自治体連携会議」での協議や国、鉄道事業者との個別協議を行う。協議では、事業実施要請後も整備主体による整備構想の申請や営業主体による営業構想の申請、その後の国の認定など様々な関係者において必要となる手続きが円滑に進むよう取組を続けていく。また、中間駅周辺のまちづくりについては、将来のまちの方向性を示す「まちづくり方針素案」の作成を進めている。令和4年度には、学識経験者等の第三者の意見を聞きながら「まちづくり方針」を策定するとともに、関係機関と協議を進めながら区画整理事業の事業化に向けた各種調査検討を進めることで鉄道延伸と一体的な中間駅周辺のまちづくりの事業化を目指し、延伸地域の皆様のご理解・ご協力をいただきながら進めたい。
- 昨年4月23日(金)に期成会と商工会議所の共催による意見交換会が開催され、その場で多くの皆様から大変熱い叱咤激励と強い要請をいただいた。さいたま市としては、その強い要請にしっかり応えるべく、その後に開かれた最初の市議会において正式に具体的なスケジュールを明確にして表明した。このスケジュールにしっかりと沿いながら地下鉄7号線の延伸を皆様とともに実現していきたい。



挨拶する佐伯会長



清水さいたま市長の講演



村井内閣総理大臣補佐官の講演



大野埼玉県知事の講演



会場の様子1



会場の様子2

#### (2) いよいよ地下鉄7号線 岩槻へ ———— 講師:内閣総理大臣補佐官・衆議院議員 村井 英樹 氏

- 令和3年度の地下鉄7号線延伸に関する一番大きなニュースとしては、清水さいたま市長が6月の市議会定例会において、地下鉄7号線の鉄道事業者への事業化要請について「素案を作成後、2023年度中(令和5年度中)に鉄道事業者に対する要請を行い、4年の任期内のできるだけ早い時期に、鉄道事業者が国への申請手続きに入れるように努める」また、浦和美園駅-岩槻駅間の中間駅のまちづくりについて「本年度、事業化に向けた具体的な区域の設定、土地利用計画案の策定と事業費の積算などを行い、関係機関協議のベースとなる計画案を作成する。この計画案を基に23年度には農林調整など国との協議を進める」と具体的なスケジュールを表明した事である。これは、鉄道利便性増進法に基づいた法的な措置を本日からあと1年数ヶ月以内にスタートするというこの宣言である。
- 地下鉄7号線延伸については「来るか来ないか」ではなく「いつ来るか」の議論に移り、延伸実現に向けた活動は「レールに乗った」。ここに至るまでには、本日お集りの皆様をはじめ地域の皆様の40年、50年以上の永きにわたるたゆまぬ努力、活動の継続と地元の方々の県議員、市議会議員の先生方のご尽力、国土交通省の「鉄道プロジェクトの評価手法マニュアル」について試算に盛り込むべき要素などを徹底的に研究して出した「採算性の壁」を超える試算、浦和レッズの皆様による全国から集めた2万3千筆の署名活動などのご協力があり、本日の講演会にもお越しいただいている清水さいたま市長と大野埼玉県知事の大変大きな決断があった。
- 大切な事は「どれだけ早く実現できるか」と地下鉄7号線延伸への皆様の「熱意」と「監視」と「支援」である。皆様には、色々なところで地下鉄7号線延伸についてお話いただき、今回の様な会合にもご参加いただくことで「熱意」を盛り上げ、「監視」として、さいたま市、埼玉県の動きをチェックし、「支援」として様々な形で応援をしていただきたい。

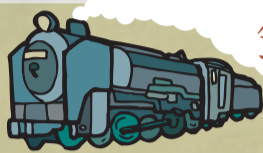
#### (3) 県が目指す公共交通のあり方と地下鉄7号線延伸への期待 ———— 講師:埼玉県知事 大野 元裕 氏

- 埼玉県では、公共交通の安全性や利便性の向上により、県民の誰もが安全で快適に利用できる地域住民の日常の足を確保し、未来を見据えた取組みをしっかりと進めるために「あと数マイルプロジェクト」を立ち上げている。将来の人口、需要、新たな技術の動向を十分に把握したうえで、公共交通や道路網の更なる利便性の向上を目指し、公共交通については、鉄道の延伸、交通困難区域のアクセス向上を目指す。また、令和2年度には専門的な知見を有する有識者の方々にお集まりいただき、その意見を取り入れながら検討することが効果的と考え、「公共交通の利便性検討会議」を設置した。この検討会議には令和3年3月に報告書を提出していただいております。報告書では、これまでなかったような、様々なアイデアもいただいている。こうした知見は、今後国に対して鉄道延伸を訴えるうえで武器となる。令和3年度は、これらのまとめでいただいた課題、取組の方向性を踏まえながら各路線の進捗に応じた取組みを進めてきた。
- 昨年4月23日(金)に開催された「地下鉄7号線延伸実現に向けた関係者意見交換会」では、延伸に向けた熱く心強いメッセージをいただいた。また、意見交換会後には、清水さいたま市長と意見交換を行わせていただき、延伸に向けたスケジュール感、課題を話し合い、お互いの役割分担について議論した。清水さいたま市長に対しては、可能な限り早期に鉄道事業者に要請をしてはどうかとお話をし、その後の6月の市議会において清水さいたま市長が令和5年度中に要請を行うと表明された。ここで大きく延伸事業推進の環境が変わった。延伸実現に向けてはこれからまだまだ超えるべきハードルがあり、課題の解決のためには、トップのリーダーシップが重要であるが、多くの関係者が様々な知恵を持って集まり、本日この場にお集まりの皆様にも是非、機運を盛り上げるために熱い思いで支えていただくことも必要である。
- 東京メトロが、1月28日に南北延伸の鉄道事業許可を国土交通大臣に申請したことや2023年3月に開業予定の相鉄・東急直通線との直通運転など、埼玉高速鉄道には、追い風が吹いている。
- 地下鉄7号線延伸には、「通学圏域の拡大による教育環境の向上」、「災害時も鉄道ネットワークの代替性(リダンダンシー効果)」などのメリットがある他、アジア最大級・日本最大のサッカー専用スタジアム「埼玉スタジアム2002」での試合開催時におけるスタジアム周辺の交通渋滞緩和の効果についてCO2削減効果、延伸による県北部から埼玉スタジアムへのアクセス向上が見込まれる。
- 連田までの延伸が実現した際には、様々な意味で産業・観光・教育・災害時の対応の可能性が広がる。期成会をはじめとする地元関係者の皆様の期待も高まってきており、地下鉄7号線の延伸に向けた動きは、大いに加速している。是非、皆様より一層のお力をお借りできますよう、改めてお願いを申し上げます。

路線図

地下鉄7号線とは?

目黒～赤羽岩淵～浦和美園(35.9km)からなる東京メトロ南北線と埼玉高速鉄道線(SR)の総称で、東京メトロ南北線、埼玉高速鉄道線(SR)、東急目黒線の3路線が相互直通運転をしています。



鉄道今昔物語 第17話  
日常の中の非日常

みなさま、こんにちは。コロナの勢いもだいぶ衰え、それに伴う規制も少しずつ緩んでまいりました。しかし、油断は禁物。気持ちだけは引き締めて、もう少し頑張りたいと思います。

さて、コロナ禍における私の地理的な活動範囲は、自宅と出版社、都内近郊の取材先などが主となり、首都圏外への出張取材が減ってしまいました。遠方での取材では、車窓から見る景色や、地元の方との会話など、非日常を楽しむ良い機会だったのですが、それらもコロナ禍に奪われた感じです。

過日、遅い時間まで都内近郊で取材をしたあと、新宿駅が眺められるホテルに宿泊しました。高層階の窓から見る夜の新宿は、いつも見ている駅やビルでさえ、まるで別の街に見えるような新鮮味がありました。

大きな心地よいベッドで就寝し、翌朝は空いている始発の下り列車で帰宅したのですが、旅行帰りのような気分、コロナ禍によって何となく曇っていた気持ちが、すごくリフレッシュされた気分でした。

これは!と思い、先日は自宅から横浜に向かい、ベイサイドに建つ高層階のホテルに宿泊したのですが、この時も窓から見ているいつもの横浜が、違う顔を見せてくれ、大変リフレッシュされました。

『日常の中の非日常』というもののなのでしょう。私にとっては、コロナ禍で疲れた心に、一服の清涼剤となりました。見慣れた街に宿泊してみる。いつもの電車に乗って、乗換駅近くや職場の近く、車窓から見ていた街のホテルで泊まってみる。ぜひ、みなさまにもお勧めしたいところです。

Go To トラベルは先行き不透明ですが、県民割・都民割などを活用すれば、いつもよりすこしお洒落なホテルを、いつもと同じようなチャージで利用することも、今なら可能になります。

長く辛い期間を自制してきた自分へのご褒美、そして、これからの自分へのリフレッシュのための時間を、こんな形で実践してみるのはいかがでしょうか?

私も次回は、浦和美園駅周辺で宿泊してみようと思っています。その計画を立てるのが、今から楽しみです。

「※鉄道今昔物語第16話は、期成会のホームページで公開しております。 <https://www.saitamacci.or.jp/subway7/index.html>」



撮影協力:ロイヤルパインズホテル浦和

著者紹介



鉄道ジャーナリスト  
わたなべ しえ  
渡部 史絵氏

鉄道にまつわる書籍執筆や監修を手がけ、その魅力を幅広く発信している。単行本や文庫本、月刊誌、新聞等の連載や寄稿など、執筆活動を主体に、国土交通省をはじめ、行政や大学、鉄道事業者にて、講演活動等も多く行っている。

著書に『地下鉄の駅はものすごい』(平凡社)、『東京メトロ知られざる超絶!世界』(河出書房新社)、『関東私鉄 デラックス列車ストーリー』、『電車の進歩細見』、『首都東京 地下鉄の秘密を探る』、『鉄道なぜなにブック』(交通新聞社)、『譲渡された鉄道車両』、『路面電車の謎と不思議』(東京堂出版)、『写真で振り返るJRダイヤ改正史』、『鉄道ダイヤ改正 2020』(飛鳥出版)ほか、多数ある。

公式ブログ  
<http://ameblo.jp/shie-rail>  
公式ツイッター  
<https://twitter.com/shierail>

さいたま市地下鉄7号線延伸認可申請事業化実現期成会



一期成会とは

「地下鉄7号線の延伸」を「オールさいたま」で応援する組織です。

主に自治会、経済界、沿線大学、スポーツ界等の幅広いメンバーで構成されています。

一期成会が行うこと

1. 調査・検討事業を行ない、さいたま市へ事業提案をいたします。
2. 埼玉高速鉄道(SR)の利用促進に向けた事業を行います。
3. 講演会やイベントなどで、延伸実現に向けたPR活動を行います。

一期成会に加入するには一趣旨に賛同される方であれば個人・企業問わず、どなたでもご加入頂けます。会費は、個人の方は年千円から、企業の方は年一万円からとなります。また、ご加入をいただいた個人の方のご家族、企業等の従業員の方は、賛助会員としてご加入(会費無料)できます。詳細につきましては、期成会事務局のさいたま商工会議所にご連絡ください。

さいたま市地下鉄7号線延伸認可申請事業化実現期成会 役員名簿

(任期:令和4年4月1日~令和6年3月31日)

役職	氏名	名称・役職	区分
顧問	秋谷 文男	信越化学工業株式会社代表取締役副会長	経済
	安野 清	株式会社ヘルーナ代表取締役社長	経済
相談役	江田 元之	さいたま商工会議所相談役	商工会議所
	佐伯 鋼兵	さいたま商工会議所名誉会長	商工会議所
	池田 一義	さいたま商工会議所会頭	商工会議所
	筑波 伸夫	さいたま観光国際協会会長	観光国際協会
	北 清治	さいたま商工会議所副会頭	商工会議所
	安藤 嘉明	さいたま商工会議所副会頭	商工会議所
	井原 實	さいたま商工会議所副会頭	商工会議所
	高橋 三男	さいたま商工会議所副会頭	商工会議所
	吉田 正信	見沼区自治会連合会会長	市民
	大熊 博	緑区自治会連合会会長	市民
	三次 宣夫	岩槻区自治会連合会会長	市民
	大郷 恒吉	さいたま市商店会連合会会長	経済
	田中 泰治	岩槻商店会連合会会長	経済
	岡村 和樹	埼玉中央青年会議所理事	経済
理事	小澤 日出行	岩槻工団地事業協同組合理事長	経済
	久田 有	浦和大学学長	沿線大学
	太原 孝英	目白大学学長	沿線大学
	久住 真理	人間総合科学大学学長	沿線大学
	立花 洋一	浦和レッドダイヤモンズ代表取締役社長	スポーツ
	佐野 秀彦	大宮アルディージャ代表取締役社長	スポーツ
	田中 久也	見沼区長	沿線区長
	織田 真由美	緑区長	沿線区長
	長谷川 司	岩槻区長	沿線区長
	山田 祐司	さいたま商工会議所政策委員会委員長	経済
	川村 郁夫	さいたま商工会議所街づくり・観光委員会委員長	経済
	伴戸 武三	岩槻人形協同組合専務理事	経済
	齋藤 進	さいたま市野球連盟連合会会長	スポーツ
	江原 悦子	さいたま商工会議所女性会会長	商工会議所
倉澤 幸恵	さいたま商工会議所青年部会長	商工会議所	
長野 晋隆	さいたま商工会議所岩槻支部支部長	商工会議所	
松永 大祐	さいたま市建設業協会副会長	経済	
監事	阿久津 基	さいたま市観光国際協会常務理事	観光国際協会
	大嶋 武	岩槻副区長	沿線副区長

令和3年度に実施した主な事業

埼玉スタジアム2002に地下鉄7号線延伸PR看板を設置

さいたま市地下鉄7号線延伸認可申請事業化実現期成会では、浦和レッドダイヤモンズ株式会社の協力の下「地下鉄7号線延伸」と「埼スタ駅設置」をPRする看板を埼玉スタジアム2002の場内(北側バックスタンド)に設置いたしました。

また、令和3年9月17日(金)には設置の記念式典を開催。当日は、浦和レッドダイヤモンズ株式会社から立花代表取締役社長、三輪取締役副社長、期成会からは佐伯会長と筑波副会長が参加し、式典では、立花社長より「埼玉スタジアム駅ができ、駅から人が溢れて埼玉スタジアムに入っていく、そういう絵が私の目の前で今動こうとしている。実現したときには、我々が2019年に集めた署名23,000筆以上の方々の一つひとつの筆の思いが繋がったと実感できると思う。この場を借りて署名していただいた皆様にお礼申し上げたい」との挨拶がありました。

挨拶の後は、立花社長と佐伯会長が看板掲出の契約書に調印し、看板の下で記念撮影を行いました。



式典の様子

佐伯会長による事業報告と挨拶

立花社長挨拶

調印式の様子

調印した契約書

設置看板前で記念撮影

懸垂幕・横断幕をリニューアル

近隣住民並びに鉄道利用者からの支援と理解をいただくため、埼玉高速鉄道(株)、さいたま市の協力を得て、下記設置場所に設置している懸垂幕・横断幕をリニューアルいたしました。

設置場所:浦和美園駅、岩槻駅東口コミュニティセンター、岩槻文化公園、岩槻消防署 笹久保出張所

期間:令和3年12月~

※さいたま市の事業に協力するため、一時的に別事業のPRに差し変わる期間がございます。



岩槻文化公園の横断幕

岩槻消防署 笹久保出張所の横断幕

浦和美園駅の横断幕

地下鉄7号線延伸効果の調査

令和3年4月に埼玉県とさいたま市が延伸に向けた「方針」と「取組」について合意し、その後、さいたま市長から鉄道事業者に対する国への認可申請手続きを要請する具体的なスケジュールが提示されるなど、延伸実現への動きが加速していることを受け、期成会では地下鉄7号線の延伸効果の調査を行いました。

今回は、主に平成30年5月に出された「地下鉄7号線(埼玉高速鉄道線)延伸協議会報告書」の内容に基づき、延伸エリアである浦和美園駅周辺から岩槻駅(東武野田線)周辺の今後の見通しや可能性、平成31年に期成会で作成した「中間駅周辺のまちづくり構想」との関連性などについて調査を実施しました。

今後は、得られた結果に対して考察や研究を進め、期成会の取組みに役立ててまいります。

地下鉄7号線延伸地域「散策マップ」



地下7期成会では、浦和美園駅～岩槻駅間の地下鉄7号線延伸実現に向けての啓発活動の一環として、延伸線地域の自然や歴史等の魅力、期成会オリジナル情報を掲載した散策マップを作成しています。

東京五輪2020競技大会をはじめ各種国際・世界大会の開催を見据え、外国人観光客への散策マップを作成しています。

また、本オリジナルマップは、延伸地域の魅力PRや円滑なコミュニケーションを図ることを目的に、ピクトグラム(絵文字)入りで、日本語と英語を併記し、かつて浦和美園駅～岩槻駅間を運行していた旧武州鉄道の痕跡を辿りながら、見沼田んぼと元荒川の自然あふれる水辺と歴史を満喫頂けるコースをご紹介します。

(ご希望の方は、期成会事務局にご連絡下さい)

詳細・お問合せは下記まで

期成会事務局

さいたま商工会議所 まちづくり支援課

〒330-9626  
さいたま市大宮区桜木町1-7-5 ソニックシティビル8階  
TEL:048-641-0084 FAX:048-643-2720